

2019 年日本熱物性学会第 2 回 (2019-2) 役員会議事録

日時: 2019 年 4 月 20 日(土) 役員会 14:00~15:45

場所: 東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター5 階 509

出席者: (五十音順・敬称略)

遠藤理恵(東工大)	大石佑治(大阪大)
小原拓(東北大)	狩野祐也(産総研)
川南剛(明治大)	木下進一(大阪府大)
熊野寛之(青学大)	齊藤敬高(九大)
須佐匡裕(東工大)	田中勝之(日大)
長坂雄次(慶應大)	西田哲也(水産大)
羽鳥仁人(ベテル)	平澤良男(富山大)
宮崎康次(九州工大)	宮本泰行(富山県立大)
元祐昌廣(東京理科大)	桃木悟(長崎大)
森川淳子(東工大)	山田修史(産総研)
山田純(芝浦工大)	渡邊純(パナソニック)

審議事項:

平澤会長より挨拶があった。

議 題:

(1) 前回議事録確認……………資料番号:19-2-1

森川副会長より、資料 19-2-1 に基づき前回議事録の確認があり、了承された。

(2) 覚書の確認……………資料番号:19-2-2

森川副会長より、資料 19-2-2 に基づき覚書の確認があり、了承された。

(3) 第 40 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:19-2-3

桃木第 40 回シンポジウム実行委員長より、資料番号 19-2-3 に基づいて、第 2 回会告が示され、準備状況について報告があった。

- ・参加登録費は昨年と同じとする。
- ・講演論文集も作成して配布する。価格は昨年より 1,000 円値上げする。
- ・講演論文集 USB は配布しない。

冊子体の作成を継続するについて、平澤会長より説明があった。

21 ページの実行委員の山田さんの名前を修正する。

(4) 第 41 回日本熱物性シンポジウムについて……………資料番号:19-2-4

熊野第 41 回熱物性シンポジウム幹事より、資料番号 19-2-4 に基づいて、準備状況についての報告があ

った。開催会場の案が示された。相模原市からの後援がいただけることになり、相模原市市民会館および産業会館を利用する予定である。開催時期は、2020年10月の中旬以降の水・木・金曜日とする。

**(5) 各種委員会報告……………資料番号:19-2-5-1~4**

編集委員会

田中編集担当理事より、資料19-2-5-1に基づいて報告があった。2019年5月号（Vol. 33, No. 2 (2019)）の目次案が示された。

熱物性値サービス委員会

山田担当理事より活動状況についての報告があった。

活動委員会

桃木悟企画担当理事より、資料19-2-5-2に基づいて活動報告があった。次回熱物性シンポジウムにおいても学生会員を対象とした学生ベストプレゼンテーション賞（BPA）の表彰を行う。

広報委員会

元祐広報担当理事より、資料19-2-5-3に基づいて、活動報告があった。学会ホームページに過去の巻頭言と目次を掲載することにした。セミナー等の会員の有益な情報をメーリングリストからの配信は無料のため、お気軽に依頼してほしい。

表彰委員会

山田表彰委員会委員長より、活動状況についての報告があった。学会賞募集中との案内があった。

40周年記念事業実行委員会

宮崎創立40周年記念企画実行委員会委員長より、資料番号19-2-5-4に基づいて、準備状況について報告があった。以下の修正提案があった。

- ・ 来年(2020年)の会長に会長挨拶を書いていただく。
- ・ 来年以降の出版・DVD作製等の必要経費についての見積もりを取る必要がある。学会経費を取り崩すためには、理事会の了承を経て、総会の決議が必要である。手順については検討が必要である。
- ・ DVDのデータはほとんど入手済である。

**(6) 研究分科会報告……………資料番号:19-2-6-1~4**

宇宙に関する熱物性とその制御

代理として森川副会長より、資料番号19-2-6-1について活動計画が紹介された。

高温融体物性と材料プロセス

代理として齊藤評議員より、資料番号19-2-6-2に基づいて活動計画が紹介された。

### 断熱材の熱物性計測と評価

代理として木下評議員より、資料番号 19-2-6-2 に基づいて活動計画が紹介された。

### ふく射性質とその放射制御に関する研究会

代理として宮崎創立 40 周年記念企画実行委員会委員長より、資料番号 19-2-6-4 に基づいて 2018 年の活動が報告された。

### **(7) 事務局報告……………資料番号:19-2-7-1~3**

森川事務局担当副会長より、資料 19-2-7-1~3 に基づいて、共催・協賛関係、会員異動、会費収納について報告がなされた。

### **(8) その他**

第 4 回理事会・第 3 回役員会は 9 月 7 日に開催する。

以下のような意見交換がなされた。

森川副会長より、会員の増強ならびに会費の値上げに関する今後の議論の必要性が提案された。

講習会の開催が提案された。

- ・オープンソースのソフトウェアの講習会
- ・書籍の紹介・利用方法の講習会
- ・測定方法・データの利用方法の講習会
- ・各分科会の基本的な部分の講習会
- ・データベースの使い方、データの見方、産総研のデータベースの使い方

元祐理事より、J-Stage からのアクセスランキングが紹介された。熱電対の使い方のアクセスランキングが高い。

耳の温度計の使い方、放射温度計の使い方に関する提案がなされた。

会費の値上げは、役員会での決議後、総会では報告のみでよいと小原会計情報担当より報告があった。

今後の会計状況の予測があるとよい。

羽鳥評議員より伝熱学会のセミナーの紹介があった。基本的な内容については人を集めるためには大事である。シンポジウムに企業セッションがあると企業は参加がしやすく、その後の勧誘にもつながるかもしれない。基本的な定常法の測定方法に関する問い合わせもある。例：ASTM-D7054(定常比較法)にあった測定方法など その他、放射率の測定方法、繊維の測定方法などに関する問い合わせもある。

シンポジウムの前日にセミナーの開催を行う。または、東京駅近くでセミナーを行う。戦略も必要である。

伝熱学会とは被らないような構成とする。データベースは本学会の独自のものである。

以上